



# カストロ・ネーベス大使と 考える 総社の多文化共生

総社市は、県下でも人口に占める外国人の割合が高く、その約半数がブラジル人です。しかし、生活習慣や言語の違い、外国人の受け入れに対しての土壌が成熟していないため、外国人

3月27日は、「ソウジャ ブラジリアン デイ」。多文化共生推進に向けたシンポジウムイベントを展開。カストロ・ネーベス駐日ブラジル大使が来総。市民会館で記念のフォーラムを開催し、総社の多文化共生の進むべき道を考える。

は日本での生活に困難をきたしています。

市では、外国人と市民が共に手を取って暮らせる多文化共生のまちづくりを推進しています。不就学のブラジル人の子どもを小・中学校へ円滑に編入させるための「虹の架け橋教室」の設置をはじめ、多文化共生推進員による相談や支援、交流イベントの実施などに取り組んできました。

多文化共生社会の実現には、やはり市民間レベルでの助け合い、地域のなかでのサポートできる体制が非常に大切だと思います。まずはお互いの交流の場を設け、相手を知ることにより、歩み寄り、助け合うことのできる地域づくりが必要です。3月27日開催のブラジル・日本交流フェスタをその第一歩にしたいと考えています。

文化的な多様性を最大限尊重しながら、同じまちに暮らす市民として、お互いに手を取り合って暮らせるまちを目指していきます。

## SOJA BRAZILIAN DAY ブラジル・日本交流フェスタ



まるごと多文化共生

入場無料  
ご参加を！

### 日本人と在日ブラジル人の共生の道を追究

★ブラジル大使来総記念フォーラム 13:30～15:30 (予定)

会場 市民会館

「外国人が夢をもつことができる多文化共生のまちづくり」がテーマ。コーディネーターとして国際移住機関の中山暁雄駐日代表が進行。カストロ・ネーベス駐日ブラジル大使、浜松市長、アムダグループ代表、市長らが意見交換をする。

### 外国人と日本人がともに楽しむ交流イベント

★文化・音楽交流イベント 11:00～17:00 (予定)

会場 サンロード吉備路

ステージでは、言葉が違って楽しむことができるダンスや音楽、ブラジル人学校の生徒による歌や踊りの発表。ブースでは、もちつきやうどんなどの振る舞い、日本とブラジルの料理の販売など。



ブラジル大使来総記念フォーラムでコーディネーターを務める国際移住機関の中山暁雄駐日代表（写真左、立っている左側の男性）。市コミュニティ連絡協議会が開いた催し「情熱クリスマス」で、もちつきを体験するブラジル人の子どもたち（写真右）

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係 (☎92-8242)

## 多文化共生の あゆみ



### 平成20年

- 4月6日 ブラジル人学校「エスコラ・モタロウ・オカヤマ」開校
- 11月16日 多文化共生フォーラム2008を開催

### 平成21年

- 12月22日 ブラジル人相談窓口を商工観光課に設置
- 4月1日 機構改革で、市役所の人権・まちづくり課に国際・交流推進係を設置
- 4月26日 ブラジル人を対象に定額給付金申請受付と各種相談会、生活安全指導講習を各機関と連携して開催
- 6月19日 アムダグループと市が多文化共生に関する協定を締結。外国人意見交換会を開催
- 8月7日 市職員による総社市多文化共生推進検討委員会が発足
- 8月20日・21日 アムダグループの協力で、市内の中学生がイラク大使館などで業務体験する「ジュニア・アンバサダー・プログラム」を実施
- 9月16日 外国人との意見交換会を開催
- 10月2日 多文化共生推進員（ブラジル人相談員）を人権・まちづくり課に配置
- 10月6日 ブラジル人相談窓口を人権・まちづくり課へ移動
- 10月14日 外国人住民への訪問調査を開始
- 12月1日 「虹の架け橋教室」がスタート
- 12月13日 「地域医療の中に外国人を受け入れるために」と題した国際理解学習講演会を開催
- 12月19日 多文化共生イベント「情熱クリスマス」を開催